

美作の丘陵上の古墳

日上天王山古墳・日上畝山古墳群

指定区分	県指定史跡
読みかた	ひかみてんのうやまこふん・ひかみうねやまこふんぐん
所在地	津山市日上
指定年月日	平成12年3月28日
解説	日上天王山古墳は全長56.9mの美作地方最古の前方後円墳の一つで、後円部三段、前方部二段築成の墳丘である。竪穴式石槨を埋葬施設とし、墳丘では葺石、壺形土器が確認されている。一方、日上畝山古墳群は大半が5世紀後半から6世紀前半に築造された円墳・方墳56基が現存する古式群集墳である。
アクセス方法	JR東津山駅から車約10分
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	日上天王山古墳・日上畝山古墳群
よみかた	ひかみてんのうやまこぶん・ひかみうねやまこぶんぐん
しよざいち (所在地)	津山市日上
していしたひ (指定した日)	平成12年3月28日
せつめい	日上天王山古墳(ひかみてんのうやまこぶん)は美作地方(みまさかちほう)でもっとも古い前方後円墳(ぜんぽうこうえんぶん)の一つです。長さはおよそ57メートルもあります。日上畝山古墳群(ひかみうねやまこぶんぐん)は、円や四角の古墳が、56基(き)も集(あつ)まっています。ほとんどが5世紀(せいき)のおわりから6世紀のはじめにかけてつくられました。